

# JR連合第33回定期大会開催!



産業の大転換期に立ち向かうべく、荻山会長を先頭に団結ガンパロー!

JR連合は、6月12日(13日の2日間、東京都墨田区一東武ホテルレバント)にて第33回定期大会を開催し、代議員・特別代議員・傍聴者など約230人が会場で参集した。議長団の1人としてJR四国労組より寶田晃代議員を選出し、2023年度の運動方針等を満場一致で決定した。

冒頭、JR連合を代表して挨拶に立った荻山市朗会長は「鉄道利用もコロナ禍前の約9割まで回復してきたが、JR産業は経営体力の面で厳しい現状に置かれており、国鉄改革に並ぶ大きな転換期にある」と述べ、すべての働く仲間の幸せと地位向上を果たすには「JR連合への総結集」と「すべてのJR会社との労使の信頼関係の構築」



議長を務めた寶田代議員

が必要不可欠」と訴えた。議事では、執行部より一般経過報告・決算報告とともに、新たにJR連合に加盟したJR四国ステーション開発労働組合の山下聡執行委員長、新飯田武執行委員長に加盟証書の贈呈が行われた。

提起された2023年度運動方針案及び予算案に対して、11名の代議員・特別代議員より、安全・組織拡大、政策活動・政治方針、男女平等参画等に関する質疑があり、JR四国労組からは、石川敏也代議員が安全の取組み等について発言。川敏也代議員が安全の取組み等について発言。担当役員の見解を経て各議案は満場一致で可決された。役員改選では、JR四国労組から派遣し、産業政策局長を務めた森安祐貴執行委員長が退任し、新たに石川執行委員長が選任された。



JR四国ステーション開発ユニオンが加盟!



退任した森安執行委員

最後に、荻山会長の団結ガンパローで新年度の運動をスタートさせた。



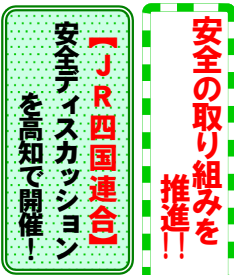
石川代議員

①安全の確保は最重要課題だが、離職によってそれが脅かされることを危惧する。今般策定した「ユニオンビジョン2023」を活用し人財確保に取り組み、産別として労働者全体で安全意識を共有できる取組みの実施を要請する。

②各組織では役員の後任探しに苦慮していると聞く。やりがいや達成感を持てるよう、活動もメリハリを付ける必要がある。

③四国新幹線の整備に向けて、四国四県が岡山ルートで推進するとの方針が定まった。整備計画路線への格上げに向けて引き続きの支援を要請する。

### 石川代議員発言要旨



連携して安全強化を推進

### 安全の取り組みを推進!!

の後、労使双方の安全活動に対する取り組みなどについて議論したほか、四万十ユニオンの大黒久美子執行委員長より「HACCP(食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で危害要因を除去し低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法)」に係る取り組みについての説明を受け、安全の確保のために妥協なく取り組む考えを共有した。

## 夏季手当・夏季賞与交渉妥結

◆過去最大0.24カ月分上積み!  
1.59カ月を勝ち取る!!  
特例0.6を維持!!

【JR四国】  
JR四国労組は、5月16日に申第17、18、19号にてJR四国に対し「夏季手当の要求等」を申し入れた。

6月1日に行った1回目の交渉にて組合は「会社を取り巻く経営環境は、人口減少及び少子高齢化の進展に加え、コロナ禍や社会変

容により極めて厳しい状況が継続するも、社会・経済活動の平常化に向けた回帰が加速している。中期計画の達成、JR四国グループが社会的使命を果たし続けるためには組合員のモチベーションの維持・高揚を図る必要がある」と強く訴えた。これに対し会社は、2

目交渉にて、昨夏の1.35カ月より0.24カ月分上積みとなる1.59カ月、エキスパート組合員の一時金に乗じる係数は特例0.6を維持する回答を引き出した。会社からは、2022年度決算において営業収益が事業計画を上回ったことや感染症拡大期を職場を超えて組合員が協力し合い安全の確保や業務運営の継続に努めた点を最大限評価したとの説明があり、この間の組合員の奮闘を最大限評価した会社側の精一杯の回答と判断し妥結した。(詳しくは、JR四国労組ニュースNo.28、29、31参照)

## ジェイアール四国バス 1.45カ月支給!!

◆昨夏から大幅改善0.65カ月分増!  
1.45カ月支給!!

【ジェイアール四国バス】  
JR四国労組は、ジェイアール四国バスとの夏季賞与に係る団体交渉を6月2日、21日に実施した。

1回目の交渉において組合は「2022年度決算は大幅な営業赤字となったが、下期を見れば収入は回復し、赤字幅を抑えられている。これは組合員の奮闘あってこそその結果で

あり、組合員に還元すべき」と強く要請。これに対し会社は「組合員のこの間の取り組みについては十分理解している。しかし、収入の回復は一定継続するも伸びを欠いている。ダイヤ改正や運賃改定の効果を最大限發揮して収入を確保するほか、経費削減も継続していかねばならない」との考えを示した。粘り強く交渉を継続

し、賞与に対する組合員の期待感の高さを強く訴え続け、迎えた2回目の交渉では、会社より昨夏を0.65カ月分上回る1.45カ月との回答が示された。組合は、この間の組合員の奮闘が評価された結果と判断し妥結するとともに、「営業損益で安定的に黒字計上を可能とする経営体質」の構築に向けて労使ともに取り組むことや安全・安心輸送の取り組みを引き続き継続することを確認した。(詳しくは、JR四国労組自動車支部ニュースNo.17、18を参照)



系統を越えて熱く議論

### JR四国労組安全推進委員会開催

JR四国労組6月28日、本部にて安全推進委員会を開催した。冒頭、中野安全推進委員長より「安全はすべてに優先する最重要課題。安全の確保に向けてしっかりと議論していこう」との挨拶があった後、議事に入り、安全・事故防止に関する経営協議会・職場環境改善、JR連合の安全に向けた取り組みについて報告があった後、2022年度の安全に向けた取り組みについて議論した。議論は、待避不良事象の防止や誤出発防止用ATSの設定等に関して意見交換し、職場からの安全確立に向けた意思統一を図った。



### 出向組合員対話集会



出向者と情報を共有

香川支部・本社支部は、6月6日(火)、愛媛支部は6月19日(月)、徳島支部は7月3日(月)、高知支部は7月4日(火)にそれぞれ支部主催の出向組合員対話集会を開催した。支部執行部に加え、本部からも担当役員が出席した各集会では、直近のJR四国労組の取り組みとして夏季手当に係る団体交渉や経営協議会について説明したのち、意見交換を実施。出向組合員からは、出向先や当該職種の人財の確保に対す

### JR四国労組 議員団会議総会開催



挨拶する山本悟史団長(中央)

6月30日(金) 16時より本部1階会議室にて、JR四国労組議員団会議第32回総会を開催した。

### 本部執行委員会

◆第10回 6月9日(金) 13時30分より、本部1階会議室にて第10回本部執行委員会を開催した。

- 【経過報告】
- (組織) 組織の強化・拡大
- (経営協議会) 安全・事故防止
- (シニアール四国バス) シニアール四国バス
- (団交) 賃金制度等の一部改正について(JR四国) 2023年度夏季手当・賞与(JR四国・ジェイアール四国バス)
- (財政) アイアール四国バス
- (部内監査) 部外監査
- (組織) 出向組合員対話集会
- (香川)
- (教育) ユニオンスクール
- (特設コース、リーダーコース)

### 区集会

◆第11回 7月10日(月) 8時30分より、ホテルクレメント高松にて第11回本部執行委員会を開催した。

- (部会) 工務部会三役分科長会議
- (青女) 第13回支部対抗軟式野球大会
- 第27回ニュースラリー(共闘)
- 第28回交通運輸政策研究会
- 第3回地方代表者会議(JR連合)
- グループ労組安全デイ
- スカッシュ
- 連合「出前対話活動」
- JRグループ労組連絡会拡大幹事会
- 【議事】
- ①2022年度決算における剰余金の処理について
- ②2023年度の財政方針について
- ③第42回定期大会
- ④ダイヤ改正実施後の経営協議会の付議について
- ⑤総合労働協約改訂に関する要求項目の集約について

### 区集会

◆第11回 7月10日(月) 8時30分より、ホテルクレメント高松にて第11回本部執行委員会を開催した。

- ⑥総合労働協約改訂に関する要求項目の集約について
- ⑦共済移転の進捗等並びに総合共済及びびくみん共済に関する事務手続き等について
- ⑧当面するスケジュールについて
- ⑨その他
- (経協) ダイヤ改正実施後(JR四国)
- (団交) 2022年度夏季手当・賞与(JR四国・ジェイアール四国バス)
- (業務) 安全推進委員会
- (組織) 東京地区集会、大阪地

### 組織内議員が 県議会にて 公共交通機関への 支援を訴える!



山本 悟史団長 (香川県議会)

冒頭、山本悟史団長(香川県議会)より挨拶を受けて議事に入り、経過報告、会計報告、会計監査報告を行い、今年度の取り組みについて説明した。その後、4月に行われた統一地方選を振り返り、選挙を通じて政治への関心と政策内容を共有する機会となったことへの評価がある一方で、今後いかにして継続的な取り組みとしていくかについて議論を交わした。

6月21日(木)、JR四国労組議員団会議の山本悟史団長(香川県議会)が、香川県議会代表質問において「県内公共交通の再構築」について質疑を行った。山本団長は4月に改正された地域公共交通活性化再生法(地活法)の主旨が「地域の関係者が連携・協働し利便性・持続可能性・生産性の高い地域公共交通ネットワークへの『リ・デザイン』

### ユニオンスクール開催

◆特設コース (管理者セミナー) リーダーコース

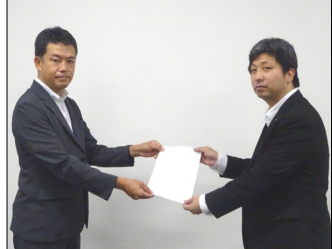


管理者組合員の立場から実践すべき事柄について理解を深めた

- 区集会
- 出向組合員対話集会(愛媛、徳島、高知)
- 退職者連絡会幹事会(青女)
- 鉄道版交通安全教室(部会)
- 営業部会拡大常任委員会
- 運輸部会拡大常任委員会
- 第17回ボウリング大会(レク)
- 第33回定期大会
- 自動車連絡会幹事会
- 自動車連絡会幹事会
- 南国市議会議員選挙における推薦候補者の承認について
- ②2023年度夏季手当・賞与の妥結承認について

5月12日(土) 13時30分より、香川県立ミュージアムにおいて、ユニオンスクール「特設コース(管理者セミナー)」を開催した。本スクールは、現場長・助役、非現業部門の主任クラス、管理者資格保有者を対象として実施しており、当日は四国各地

### 四国交運労協鉄道部会・バス部会が 四国運輸局への要請行動を実施



要請書を手交する 石川鉄道部会長(右)

四国地方交通運輸産業労働組合協議会(四国交運労協)は、7月3日(月) 10時30分から鉄道部会が、同日15時30分からバス部会が、それぞれサンポート高松合同庁舎にて四国運輸局への要請行動を行った。鉄道部会では、固定費負担が大きいといった鉄道事業者が抱える構造的な課題の解決に向けた支援や四国新幹線の整備を要請。バス部会では、改善基準告示における休憩等の定義の確立や過労運転防止のために必要なのは正の実態などを求めた。その後要請に対する四



真剣な表情で回答を確認するバス部会の出席者たち

### 乗務員共済運営委員会

◆第13回支部対抗軟式野球大会



健全な運営を確認

7月1日(金) 15時15分より本部1階会議室にて、乗務員共済運営委員会を開催した。冒頭、武智乗務員共済運営委員長から「乗務員共済はJR四国労組の独自共済制度。より良い仕組みとなるよう議論をお願いしたい」と挨拶し、

5月19日(金)には、ホテルアネシス瀬戸大橋にて分会三役を対象とした「リーダーコース」を開催した。

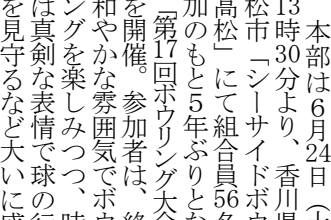
### 【試合結果】 決勝 徳島 3-2 香川 3位決定戦 愛媛 8-3 高知



青女組合員が躍動!

### 第17回 ボウリング大会 & 懇親会開催!

◆第17回ボウリング大会



明るく楽しくレクを満喫

13時30分より、香川県高松市「シーサイドボウリング」にて組合員56名参加のもと5年ぶりとなる「第17回ボウリング大会」を開催。参加者は、終始和やかな雰囲気の中でボウリングを楽しみつつ、時には真剣な表情で球の行方を見守るなど大いに盛り上がった。団体の部では、徳島支部Aチーム優勝。個人の部では宮谷雄太さん(香川支部)が1位の座を勝ち取った。大会終了後には「とらべる亭」に場所を移して懇親会を開催し、笑顔の絶えない時間を過ごすことができた。